



2024年度 年主題くさあ、漕ぎだそう 奏でよう

0・1・2歳児3月主題「おおきくなったね」
月のねがい
◎神さま、イエスを大好きと感じる(0)◎戸外に出て春の訪れを感じる(0)
◎生活のリズムができあがり、安心して過ごすうち心も満たされる(0)◎いつも神さまと一緒にいて下さることを感じ、感謝する(1.2)◎日々を喜び、安心して過ごし進級することを楽しみに待つ(1.2)◎自分でできることが増え、友だちとの関係を楽しみながら心身共に元気に過ごす(1.2)

3・4・5歳児3月主題「希望を持って」
月のねがい
◎神さまに守られて大きくなったことを喜び、感謝する◎友だちと思いを伝え合うことを喜び、互いの思いやその子らしさを受け止め合って過ごす◎心満たされる日々を経験し、4月からの新しい生活を待ち望む◎共にいて下さった神さまが、これからも導いて下さることを信じ、希望を持つ◎育まれた信頼関係を土台に、安心して4月からの生活に歩み出していく



もうすぐドキドキの進学・進級

まだまだ寒さが続いています。園庭に花が咲き始め花摘みを楽しんでいる子どもたちの姿に春の訪れを感じます。先月は大きな行事のおゆうぎ会、大きな舞台でのびのびと表現する子どもたちでした。園庭や体育館でおゆうぎ会の曲が流れると、自分たちがしたおゆうぎはもちろん、他のクラスの表現も真似をしながら、おゆうぎ会ごっこをして余韻を楽しんでいます。

さて、先日年長児が「休みの日に学校へ歩いて行ったよ！遠くて疲れたー！」と友だちとおしゃべりしていました。進学・進級まで残り1ヵ月となり、嬉しさ半分、不安も半分の時期ではないでしょうか。特に年長児は長く過ごしたこども園を卒業し、未知の世界の小学校へ！。新しい環境に慣れていけるか、友だちができるかなど戸惑いや不安も多いかと思えます。新しい環境に慣れるのは大人でも大変なことですね。そんな時お家でおいしいものを食べて、あったかいお風呂に入ってホッとひと息。「こんなことがあったんだー！」「大変だったんだ！」と自分の素直な気持ちを聞いてもらうことで、子どもたちも安心して過ごしていけると思えます。安心できるお家(基地)は子どもたちの頑張るパワーの源です。子育てや仕事、家事を頑張っているお父さん、お母さん、本当にお疲れ様です！忙しい時期ですがどうぞ自分にも優しくしながら、子どもたちの成長と一緒に喜び合えたら嬉しいです。3学期も残りわずかとなりましたが、よろしくお祈りします。

大河



今月の聖句

「わたしはあなたと共にいる」

イザヤ書 43:5

歌手・福山雅治さんの作った歌に「道標」という歌があります。その中に次のような歌詞が出てきます。「愛に出逢い 愛を信じ 愛に破れて、愛を憎み 愛で救い また愛を知る。風に吹かれ 迷いゆれて 生きるこの道、あなたの笑顔 それは道標…傷もたためらず 痛みもかわらず「勝つこと」ただそれだけが正義と 壊れてもまだ走り続けるわたしにも、あなたはやさしく…」この歌は、亡き祖母を思い作られたそうです。そのひととなり歌詞の中からこぼれ落ちてきそうです。そこには孫と共にいて、見守る優しい祖母の姿があります。それは競争原理の価値観に染まったこの世界の中で、大切な存在に共にいてもらうことが、どれだけ大きなことであるかを示しています。

2024年度がもうすぐ終わろうとしています。卒園の季節を迎えました。これまで子ども達がすくすくと成長してきた日々を懐かしみ喜びつつ、それを土台にさらに小学校へとステップアップしていくことに対する期待と不安が入り混じっているかもしれません。しかし親や家族、信頼できる大人が共にいて支えられた子は、支えを必要とする誰かのために、今度は自分が共にいてあげられる子に成長していくのです。「人」という漢字は、互いに支え合っている形になっています。そのような関わりを持っている人は、幸いであり、いざという時に強く、頼りになるのです。卒園を控えた園児を抱えておられる保護者の皆さんが、そのように子ども達と共にいて、支え、支え合いながら、新しい春を迎えられますように、切に願ひ祈ります。

協力牧師 池田基宣

3月の行事予定

4日(火)	3月誕生会・弁当日
5日(水)	役員会・監査
8日(土)	卒園式 9:00～
11日(火)	お別れ会・給食バインク
19日(水)	修了式(午前保育)
29(土),31(月)	年度末休業日

4月の行事予定

8日(火)	始園式
12日(土)	入園式 9:00～ クラス会(親子で降園)
19日(土)	役員会
26日(土)	親子遠足(弁当日) 父母の会予算総会 雨天時:めいろう体育館

※4月は変更及び中止になる場合がありますのでご了承下さい。

退職者のお知らせ

本年度をもちまして、非常勤保育教諭の石寺ルミ子が退職いたします。皆様には長い間大変お世話になり、まことにありがとうございました。

星とたんぽぽ 金子みすゞ

青いお空のそこぶかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんで、
昼のお星はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

ちつすがれたたんぽぽの、
かわらのすきにだアまって、
春のくるまでかくれて、
つよいその根はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。



ひかりのこどもらしく 旅立ちの春

三寒四温を経て、一雨ごとに暖かみを増してきました。余寒も過ぎ、弥生三月を迎えます。弥(いよいよ)ますます(生)生(生)茂る)とは、文字通り草木が芽吹く季節。一年の仕上げのとき、喜びと寂しさのときでもあります。春の訪れを私たちに感じさせてくれるのは太陽の光です。日ごとに日差しが強くなり、春らしくなってきました。厳しい寒さの後は、春の光のありがたさをつくづく感じさせられます。子どもたちは早く体で春の訪れを感じ取つていよう。室内にいるよりも光の降り注ぐ園庭で存分に遊びたい気持ちです。溢れに溢れるように。

乳幼児期は、「生涯にわたる人格形成の基礎が培われる」重要な時期である。教育・保育要領に示されています。意図された適切な環境の中で、あそびを中心とした活動を十分に経て、小学校以降の学習の場に入っていくことが大切です。時間を忘れて何かに熱中できることは学ぶ力の根っこだと思います。そして、簡単に諦めないで何度もチャレンジする根気が、学びの力を強めていくのではないのでしょうか。SI教育の白濱先生は、生き生きとした知力を育むには、次の五つの力が大事であると言われました。①自分からやる気になる②面倒くさいことを面倒くさがらない③目的を持って取り組む④自分の意思や考えを主張できる⑤目的を持って取り組む。どれも非認知能力と呼ばれる目に見えない力の結集ですね。これらの能力を基に、夢に向かって自分を肯定的に捉えられる子どもに育てて欲しいと思います。物事を真面目に捉えられる子どもに育てて欲しい。体験と他者との交わりの中で培われます。これからは益々いろいろなことに挑戦し、主体的な探究心を育てて欲しいのです。

『ひかりのこどもらしくあゆみなさい』子どもたちの「卒園の歌」の歌声が聞こえ始めると、この聖句を卒園生に贈る聖句に書き込んでいきます。一人一人の顔を思い浮かべながら筆を運ぶこの時間は、まさに至福の時です。人格を形成する大切な乳幼児期に、個々の育ちの過程にしっかりと寄り添えることができたのか。自己肯定感が育まれるような言葉掛けができたのか。発達に最も大切な「あそび」が自由に探求できる環境が整えられたのか。静かに内省する時でもあります。集団生活の中で、活動や行事を友だちと共に経験する機会をたくさん備えることができたことは感謝でした。

多様化する時代にあっても、一番大切なものは、いつも目に見えないのだということ。忘れずにいてほしいのです。金子みすゞの詩にあるように、星の星やたんぽぽの根のごとく、見えないけれど確かに在る神さまの大きな愛と人々の愛に満たされ、心優しいひかりの子として歩むことが出来ようように祈っております。この一年間、保護者の方々には色々な面でご支援ご協力をお戴き、誠にありがとうございました。多くの足らざるところをお詫言ひし、心より感謝申し上げます。

園長

聖書の贈りもの

3月は年長児が卒園式を迎えます。毎年こども園では卒園記念に聖書が送られます。聖書には、小さな字がずらっと並んでいます。聖書はとても長くて、難しいところもあるので、大人でも全部読めない人もいます。読んでも、なんのことかわからないところもあります。でも、少しずつ読んでいくうちに、大切な言葉や大好きな言葉が見つかるのです。

聖書には3つの大切なことが書いてあります。

ひとつ目は『ありがとう』
神さま、こんなに素晴らしい世界を作ってください、ありがとうございます。家族や友だちがいて、ありがとうございます。たくさん遊んで、美味しいものを食べられて、ありがとうございます。イエスさまが、私たちを助けてくれ頑張る力をくださって、ありがとうございます。

2つ目は、「ごめんなさい」
神さまが大事なことを教えて下さっているのに、わからんちんな時があつてごめんなさい。ワガママや暴れん坊さんになつちやつてごめんなさい。

3つ目は「だいじょうぶ」
神さまがいつも見ていて下さるから、だいじょうぶ。家族や先生やお友だちがいるから、だいじょうぶ。失敗をしたり、

間違つてもだいじょうぶ。お祈りをすると、だいじょうぶつという気持ちが心の中で大きくなります。

「ありがとう」が、心を豊かにし、
「ごめんなさい」が、かたくなになった心を柔らかくし、
「だいじょうぶ」が、心の底からなる力となるのです。

ひとりひとり、みんな、神さまに素晴らしい宝物をいただいています。これから先の新しい世界でも、その宝物がますます輝いていきますようにと、お祈りしています。また、がんばるころも、助け合うころも、信じるころも与えられている子どもたちです。新しい世界で、希望の光を絶やすことなく、大きく大きく成長していくことができるよう祈っております。ご卒業、おめでとうございます。

副園長

